

# 試水内 かわら版 8

## 水質

霞ヶ浦では田伏・三又沖・大井戸の沖合に0.5〜3.0の低酸素水があり、一時強風で消失しましたが、再び底層の酸素が低下して来ました。共浦では、江川・三和・碓氷で低く、とくに江川では、よほど程度にまで低下しています。また、玄島・沖宿・高崎の漁場内も、酸素の量が2〜4cc程度のような状態が2週間もつづいています。沖宿の漁場では、100kg程度のへい死がおこり、高浜・やま島漁場では、ハナアゲがみられています。今回の沖宿でのへい死の特徴は、木の交換の悪い奥のしかも、中央の網生簀がおこっていることと、

従来、手賀等の木の交換の悪い漁場であつた例と同じとみられます。詳しいことは、報告がすぐれたためによりわかりませんが、へい死から3日程経過すれば、24日でも、へい死した網生簀で2.5ccで魚の動きもにぶく酸欠死のようになっていた。この例でわかるように今年も、どこかうごこのような形でへい死が発生していくかわかりません。夜間・早朝はよく注意し、曝気をおこなうなどして、へい死を防止して下さい。現在水温は20〜22度で、最近透明は低下、植物は増殖している時期ですが、田伏・高崎や共浦奥部では1〜4ccと底層で常に低値がみられています。したがって水温が多少と以上に達する、次の水まりの

5月22日	透明度	酸素	酸素	7DD	水温
木原	1.3	8.7 8.9	276 376	46	20.7 21.0
三又	1.4	9.3 9.7	323 334	35	19.2 19.6
麻生	1.2	8.8 9.9	343 333	54	19.7 20.0
田伏	1.0	8.9 9.3	295 354	58	20.2 20.7
高崎	0.7	8.2 5.9	52 56	65	22.5 22.5
大井戸	1.1	8.4 8.8			
白糸	1.5	9.1 8.7	558 550	54	11.8
江川	1.4	7.9 7.8	495 502	43	20.0 20.3
三和	1.0	7.1 6.7	347 355	78	20.6 20.8
安塚	0.6	8.4 7.5	37 73	134	20.0 20.0

5.28の酸素	地点	表層	底層
→	田原	7.0	3.8%
	下里	7.2	1.8
	柏崎	3.5	3.6
	小津	3.8	3.6
	田伏	6.0	4.0
	三又	7.0	5.6
	中津	6.9	5.9
	碓氷	6.6	5.0
	木原	6.4	4.9
	高田	4.8	2.3
	三和	4.8	1.5
江川	5.7	2.7	
		3.4	

時期には、今回よりさらに酸素が乏しく、昨年と同程度の酸欠が来るものと考え早目に、避難等の準備をしなければなりません。

プランクトン	%
鞭毛虫	550
シネドラ	1200
その他	77種

よくあります。原因は、調査中です。  
1三又沖。  
\*高崎では、アバブが200/CCです。

ワカサギの種苗生産  
今年のワカサギ種苗生産は、200kgの池で20万尾、歩留 20%の成績をおさめ、全くコイと同じように種苗をつくることのできるケリになりました。

かわら版のこと  
今年はずいぶん異常に多く、湖岸では勿論のこと、日中でも沖の方で群をなしていることが

